



近年の建設業界には、女性の躍進も目立ってきた。女性ならではの、キメの細かさや気づきが活かされる箇所も多いからだろう。そんな中(株)スリーエヌ技術コンサルタントは、初の女性技術者として栗原恭葉さんを採用。入社7年目になる栗原さんに仕事の喜びや思い、今後の目標など話を伺った。

●技術職を選んだきっかけ

この仕事を選んだのは、建築士だった父の影響です。大学進学時に自分も同じ道を選ぶつもりでしたが、教科科目の制限で建築科を受けることができませんでした。そのときに、土木科(福岡大学・現社会デザイン工学科)を知りました。土木は社会基盤のすべてを支えるものです。道路、橋、水道、砂防：日常生活で何かひとつ欠けても支障がでます。その基盤に自分が参加できることが魅力でした。また、公園緑地などランドスケープに興味があったので、迷わず土木の道へ進みました。

●印象的な仕事

現場は道路や橋梁、河川とありますが、今は砂防が中心です。入社して数か月後に九州北部豪雨(平成24年)の災害現場にきました。場所は八女の黒木町に流れる深流。災害から二年後の現場でしたが、自分より大きな岩が所狭しとあり、衝撃的でした。けれど、現場を見たからこそ「自分が設計して整備する、そういう環境を作る」とやる気にもつながりました。

わからないことは、いつでも、すぐに聞くようにしています。上司や先輩は、私が理解するまでしっかりと教えてくれますので、ありがたく思っています。そして、自分の後輩には、そのノウハウや知識を伝えたい。

●結婚後の生活や仕事の変化

夫も同業者なので、独身時代から結婚へ生活が変化しても、大差はありませんでした。環境に変化があったのは、夫の東京勤務が決まったときです。入社して4、5年経ち、やっと仕事にも慣れたときでしたので退職を口にするのは、心苦しかったです。

ですが、会社からは仕事を東京で続けてみては：とオファーを受けたときは本当にうれしかった。今まで培ってきた経験を無駄にせず、新しい活躍の場を与えられた気がしました。

東京生活が一年半くらい経った後、妊娠がわかり

担い手シリーズ 01

# 結婚や出産・育児と 並行して自分の キャリアも高める

栗原 恭葉 入社7年目(技術士補)  
株式会社スリーエヌ技術コンサルタント



栗原 恭葉(くりはら やすは)  
福岡県粕屋郡出身。福岡大学 社会デザイン工学科卒業後、平成25年4月(株)スリーエヌ技術コンサルタント入社。  
**会社概要**  
(株)スリーエヌ技術コンサルタント  
〒812-0043 福岡市博多区堅粕4丁目24-14トステムビル4F  
TEL. 092-482-7800 FAX. 092-482-7801  
<http://www.3n-con.co.jp>

福岡へ。そこから二年の育休後、復帰しました。会社が結婚や出産に関して、勤務時間の配慮など手厚いサポートがあるのも心強いです。夕方になると、退社時間を促していたとき、時間通りに勤務を終えられます。

●技術職を目指す人に伝えたいこと  
自分の設計したものが地図に残る、そのスケールの大きさにやりがいを感じ、この職業を選びました。企業説明会では、大手コンサルではなく、なぜ地場に入ったのかよく聞かれます。一番の理由は、自分が住んでいる町を設計したいという気持ちが強いです。仕事は楽ではありませんが、社会基盤の計画を通し、自分の考えを仕事に生かせる場面も多く自己成長も実感できます。技術者としてどんな仕事をしたいのか、具体的なイメージをもって会社を選んでほしいと思います。

●今後の目標  
女性技術者の場合、家庭・育児、仕事を並行して行うのは大変です。子どもの発熱で、保育園に呼び出されることも多く、それ以外にも、行事や検診などがあり、生活リズムを整えて、仕事が集める状態に戻すには、時間がかかります。覚悟を決めて、自分自身の力量やペース配分を考え、少しずつ進んでいければと思います。今できることは限られていますが、砂防の専門家として技術士資格の取得を目指しています。